

久楽の旅のスタイルは、カメラを持った一人旅。荷物を背負っている時、  
宿に荷物を置いて、今回のように、手ぶら取材の時もある。

昨今、グループでなく、二人旅や、一人旅が多くなったような印象がある。  
旅の途上でも、「シャッターを押してくれませんか」と頼まれる。八甲田山では4回あった。



気楽にスマイル外交。国籍関係なし。男女関係なし。年齢関係なし。

なんとなく、先方から頼まれることが多い。

シャッターの後、「どちらからですか？」会話が始まり、**ひとときのご縁**ができる。

一期一会、その場限りが多いが、ご興味や状況を聞いて、

ちゃっかり、HP 発信中と「ホームページカード」を手渡すことが多い。

勿論、教えてもらったことや、気づきを、**メモ**に残す。



人間、ご縁に始まって、ご縁に終わるといふ。

血縁、地縁、学縁、職縁、趣縁、日常であれ、旅の途上であれ、一期一会のご縁。

例えば、人間関係の近い順番？ 家族、友人、知人、赤の他人。

このホームページも、ご縁の一つ。

ある日から、少し考え方をチェンジ。年齢等々関係なく、**新しい出会いは、大変勉強になる。**

**失敗も多い。**犬も歩けば、棒にあたる。動くほど、問題も増えるが、

晩年、こうした**選択**をしたことで、失うこともあるが、**無形の得るものが大きい。**

今、DIY生活。健康維持のための日々の食事が大変。レシピなども教えてもらうことも多い。

相手の長所を見つけることで、次に進める。

出会いや、眼前のこうした光景を、現場で見られたことで、

勝手ながら、後悔はない。行動したプラスとマイナス、始める前は、誰にもわからない。

昨日と違う明日。人生に、正解はないと思っている。問題は、**やる気と実践。**

勝手ながら、何事に関しても、**始めなければ、始まらない。**

知っていることと、出来ることは違う。**現場で、自分自身に言い聞かす、ひととき。**